

家族でお世話になって早いものでもう3年になります。最初の年はツノハシバミの実に付着しているとげにおどろき、サワシバのフワフワした実に感激したことを書き、昨年はアカバナの花粉のたくましさや実や枝のたよたよしさについて書きました。今年の発見は立地でした。私は化石の方面から現植生に大変興味を持つ者なのですが、ツクシの親すなわちスギナの立地条件について考えさせられる年でありました。木のようなたたずまいを示す木生羊歯類は絶滅して現在の地球上には見られませんが、スギナは古生代の石炭紀すなわち今から約3億年前からずっと地球上に生き長らえて来た訳で他の生物が減ってしまったのになぜスギナは生き残れたのでしょうか。そのような目でスギナの生育する土壌を観察したのが今年の植物友の会でした。スギナの生育土壌はどうも栄養の豊富でないやせ地が多いように見うけられました。栄養が良くないのに3億年も絶滅せずに生き残っているということはその種の中に何か生命を維持するのに役立つ物質を持ち、その物質は人体の健康維持にも役立つのではないかと考えます。このことは井戸端会議でスギナを洗って乾燥させこれを煎じてお茶がわりに飲むとガンに良いといううわさを聞きこれに刺激されここでその地質的背景を述べた、立地についても観察して見たわけです。スギナは我家の畑にも沢山あり自然破壊でにぎやかになる植物でもないと考えます。スギナ以外にもいろいろの植物を観察することができました。幹事の先生方に心から御礼を申しあげたいと思います。

山歩き

Part 3

星野さん家の

星野さん家の山歩き Part 3

私が今年度の「植物友の会」で一番心に残ったのは、西岡水源地へ行ったことです。

西岡水源地には、これまでに何度も行ったことがあります。ようち園でも遠足で行きました。それに、一年生の親子レクでも行きました。その他、家の人達で行った時もありました。だから今度、また行くとなった時、「もうほとんど知っているから、別に特別行かなくたっていいや。」と思っていました。でも、やっぱり最後ぐらいは行こうかな。と思って行くことにしました。行く中、(私

の家から西岡水源地までは近かったので、お母さんと私で歩いて行きました。)

まわりの景色をながめながら行ったので、あつというまにきました。出席をとって、山の中をあるきはじめると、最初思っていたことには反して、今まで行ったことのない道を通ったのです。それに、どんどん進むにつれて、知らない場所や、はじめて通る小さな橋を見たり、めずらしかったです。中でも、道路(道)を歩くよりは、軽い水たまりの上を橋で通るのがおもしろかったです。いろいろあるきまわったすえ、最終てきには知っている所にりましたが、私は、知らない場所を見れたので、満足でした。

今年の植物友の会は、合唱の練習、その他いろいろな用事であまり出席できませんでした。そのぶん、最後に行った西岡水源地は、しっかりと心に残りました。来年は、もっと心に残る思い出をたくさん作りたと思っています。

